

平成26年10月11日

小金井市長 稲葉孝彦 殿

## 平成26年度 小金井市公立保育園父母の会 意見・要望等

小金井市公立保育園父母の会(通称:五園連)

くりのみ保育園父母の会会長 射場 久善

けやき保育園父母の会会長 大金 順子

小金井保育園父母の会会長 山口 雪子

わかたけ保育園父母の会会長 三橋 誠

さくら保育園父母の会会長 長岡 祐三子(代表)

日頃より、保育園をはじめとする保育行政や子育て施策について御尽力を頂きありがとうございます。

我々小金井市公立保育園父母の会(以下、五園連)と市では昨年度3回の懇談会が行われました。おかげさまで、公立五園の保育園の父母の意見を直接市にお伝えすることができ、また市の保育施策に関する考え方についても、理解を深める事が出来ました。

加えて昨年は11月に小金井市公立保育園運営協議会が立ち上がり、公立保育園の運営に関して、総合的に検討をする場がスタートし、我々父母の保育ニーズや保育の質等に関する協議を行っています。

五園連では例年全世帯の父母を対象としたアンケートを行っていましたが、本年度は運営協議会(市と父母の共同)でアンケートを実施しました。その結果をもとに添付の通り、意見・要望等を取り纏めております。

今年度のアンケートの結果は恒常化をしている保育士の欠員状態を踏まえ、保育士体制の問題が最も父母の改善要望が高くなっています。また、小金井市の待機児童の問題は解消方針を策定頂いているものの、今年も過去最高を更新しており、引き続き我々父母としても大変憂慮をしています。加えて、病児・病後児保育の整備・拡充が例年同様に要望順位として高くなっているほか、運営協議会での協議の動向や、来年4月から実施される子ども子育て新システムの影響については、現状の保育環境を大きく変える可能性があることから、我々父母の中でも注視しております。

そこで、本年度は、これまでの懇談内容に加え、上記問題の状況を踏まえた意見・要望等といたしました。つきましては、添付項目の意見・要望に関しまして、10月11日(土)の懇談会にて意見交換の後、11月12日(水)までに文書にて御回答を頂きたく、よろしくお願ひ致します。尚、10月11日はあくまで懇談の場ですので、以下の項目の一方的な質問・回答といった形式ではなく、お互いの理解を深めるべく双方向の対話となるように努めたいと考えております。どうぞよろしくお願ひ致します。

以上

2014	項目	2014年 意見・要望
1	保育士体制問題	<p>保育士体制については、ここ数年、五園連としても問題点を指摘させていただいていましたが、昨年4月1日時点で保育士が13人、うち正規職員は5人も欠員の状態となり、今年4月時点においても同様の状況に陥ることが憂慮されたことから、平成26年1月22日付「平成26年4月からの公立保育園の保育体制について(要望)」を我々五園連より市に提出いたしました。そこでは、保育士が度々変わるようなクラスでは、子どもたちは落ち着かず、父母との信頼関係も築きにくくなってしまっている現状と、同時に社会的にも保育士不足となっている状況を踏まえ、中長期的な採用のあり方を含む抜本的な保育士体制の問題として改善を要望いたしました。</p> <p>また同時に、運営協議会で協議を行う上で、新たなサービスの拡充等は保育体制の確保が当然の前提となるばかりか、将来の運営形態の見直しにも大きく影響する問題であることから、協議への影響の懸念について指摘をさせていただきました。</p> <p>その後、本年4月1日時点において、正規職員の退職者4名を非正規職員8名で代替することについては、非正規職員の採用の確保はできたものの、適正な保育体制で運営をするにあたり、臨時職員や朝晩のパートさんについては、未だに募集人数を確保できず、恒常的な欠員状態は続いております。</p> <p>市では臨時職員の交通費の支給など一定の努力をされていることは理解をしますが、我々父母としては、保育体制が万全でなければ、安心して子どもを預けることができません。また、非正規化による中長期的な運営体制への懸念の声もあがっており、これらの点は、本年のアンケートにおいても特に大きな声となっています。あらためて、中長期的なあるべき保育士採用のあり方をしっかりと確立していただき、抜本的な保育士体制の改善を強くお願いいたします。</p>
2	待機児童の解消	<p>待機児童数は新基準となつてから、毎年記録を更新し続けており、今年度も257人と過去の記録を更新しました。アンケートの結果においても昨年度同様に要望が非常に高く、兄弟がバラバラの園に泣き別れて通っているケースや、待機児童を理由に新たな出産を躊躇するなどの意見が多数出ています。また今年度は待機児童解消のために公立保育園で計10名の緊急受け入れを実施したほか、過去においては、定員の弾力化枠の適用や遊戯室の一部を無理して育児室にするなどの保育への影響も出てきています。市では、待機児童解消方針を策定するなど、一定の努力はされていると思いますが、まだまだ十分ではありません。今後子ども子育て会議での議論を経て待機児童が0となるように保育計画を策定されると思われませんが、待機児童解消のために、早急に抜本的な対策を実施願います。また、施策を実施するにあたっては、保育の質や保育環境を後退させることのないよう対応をお願いいたします。</p>
3	病児保育	<p>病児保育については、我々父母が仕事を続けていく上で是非でも必要という意見もあり、これまでも常に上位で要望を続けてきました。市が10月7日の子ども子育て会議で示された病児・病後児保育の保育計画案では、平成30年以降に対応する計画案となっていますが、これでは、その間における現状の問題は改善されません。アンケートではこのままでは、仕事を続けることも難しいという声も出ています。改めて、喫緊の課題として認識いただき、早急な対応をお願いいたします。</p>
4	病後児保育	<p>一昨年前にくるみ保育園が開設されたこと自体は評価できますが、病後児保育の父母のニーズは相変わらず高く、一方で昨年度の実際の父母の利用は低調にとどまっています。父母からは市のはずれで使い難いという声のほかにも、時間が17時までで使いにくいという声など、運用面の改善を求める意見がでています。またアンケートの内容からは、くるみ保育園を十分に認知されていない状況も見受けられます。まずは、現在のくるみ保育園の周知及び運用の改善等を行っていただきたく、よろしくお願いいたします。加えて、市中心部での開園や、体調不良児型保育等についても、着実な実施をお願いいたします。</p>
5	延長19時一時利用	<p>現状は一時利用の制度が無いので使えずばかりか、緊急時に運用で対応している園との差については不公平感もあり、改善が必要となっています。近隣自治体では実施されているケースが多数あり、この点は運営協議会の議論の中でも取り上げられています。体制や事務手続きなど運用面での課題があるとのことですが、近隣自治体の状況など十分な検討を行うことで、対応できる面も多々あると思います。早急に小金井市においても制度の導入をお願いいたします。</p>
6	園セキュリティ強化	<p>事務員やガードマンの配置が望ましいですが、まずは、実現可能性の高いオートロックの配備や照明の設置等によるセキュリティ強化の施策・運用面での改善をお願いします。小金井保育園からスタートをした市と各園毎の打ち合わせも昨年度からほとんど進んでいないと認識をしております。対応状況をご説明頂くとともに、アンケート結果を参考に各園毎に具体的に協議を進めて頂くよう改めてお願い致します。</p>

2014	項目	2014年 意見・要望
7	民間等への委託問題 (小金井市公立保育園運営協議会の運営を含む)	<p>昨年5月に市では民間等への委託も視野に入れた公立保育園の総合的見直しを示され、11月には父母側の代表者を委員に含めた運営協議会が設置されました。運営協議会では、覚書を締結し、共同委員長形式や共同アンケートなどの父母側の提案を受け入れて頂いた点などは、ありがとうございます。協議の結論には中々至っておりませんが、保育ニーズについては、議論の中で論点が明確になりつつあり、保育の質に関しても協議が始まり、一定の成果も出てきていると考えます。一方で、協議を進めていく中での課題もあり、以下の点については、改めて確認、改善をお願いいたします。</p> <p>①覚書で合意した項目(審議時間の十分な確保。委託を前提とした議論としない等)については、引き続き順守下さい。</p> <p>②「総合的見直し」に対する五園連側からの指摘に対して、市からの回答が滞っています。保育士体制に関して、欠員状況に対するは問題認識は共有しているものの、具体的な改善が見られ無い等、協議を行っていくうえでの課題があり、改善をお願いいたします。</p> <p>③アンケートの結果を見ますと、協議会自体を知っている父母は約9割と認知されてきていますが、議論の内容についての理解は、3割に満たない等まだ十分ではありません。また、我々父母の中だけでなく、広く市民の方への理解も必要かと思えます。協議会の議事録や資料は市のHPでも掲載をされており、我々父母の中でも努力をする必要がありますが、協議会の議論の内容については、広く理解をされるように一定の議論の整理が出来た段階では、説明会や市報での広報などに力を入れて頂けるようお願いいたします。</p>
8	災害対策	<p>①災害時のマニュアルについては、本年3月の対市懇談会で我々五園連に案が示され、ようやくですが、一歩前進をしました。一方で、内容面では各園で具体的に運用できるかどうかが課題となっている部分も多く、市側では、その後各園での検討を行ったうえで完成となり、各園毎に父母に説明があると理解しておりますが、その後の状況はどのようになっておりますでしょうか。いつ新たな災害が発生するかも分からない中、早急な対応をお願いいたします。</p> <p>②災害時の父母・園・市との間での連絡手段の多様化については、双方向の連絡が可能なメールシステムの構築については引き続き実施できるように予算面の措置を含め御対応をお願いします。メールシステムが運用されるまでの間、保育課から各園の代表者等に災害時のメール連絡を行っていただき、その後各園任意で父母への連絡を行うことについては、今年度も実施いたしました。ありがとうございます。但し、実際に園児に被害があった場合等の連絡方法など課題は引き続き残っており、運用面のさらなる検討・改善をお願いいたします。</p>
9	延長保育(20時まで)	<p>今回のアンケートの結果も様々ですが、現状で困っている父母も多く、アンケートでは月に数回以上の利用予定者が3割弱となっています。保育体制の確保等を前提に、のびゆく子どもプラン小金井で示されている施策と同様に、着実な検討をお願いいたします。</p>
21	夜間保育(20時以降)	<p>まずは、20時間までの時間延長の着実な実施が当面の課題となりますが、20時以降の夜間保育についても一定のニーズが存在することを認識いただき、引き続き検討を行ってください</p>
10	施設面の改善	<p>今年度もアンケートの結果の中には、建物や設備の老朽化を指摘する声のほか、雨の日の不具合や駐輪場、トイレなどに施設面の課題があげられています。一つ一つ検討を頂く中で、危険度の高いものや、改善可能なものを中心に早急な対応をお願いいたします。</p>
11	園周辺道路の安全	<p>車道にすぐ出ないで済むスペースや通路の確保が望ましいですが、それ以外にも都市整備部や警察と連携し、道路のカラーリングや立て看板の設置、街路灯の照明UP等により状況の改善等について、以前より各園の状況に応じてお願いをしてきました。現時点における対応状況についてご説明頂く共に引続きの改善をお願いいたします。</p>
12	休日保育	<p>日曜日や祭日に出社をする父母もおり、のびゆく子どもプラン小金井の中でも市の施策として実施を検討していくことが取り上げられています。まずは拠点型保育でも結構ですので、保育体制の確保ができ次第、実施をお願いいたします。</p>
13	駐車場の確保	<p>希望する身近な園に入れなかった父母や兄弟がいる家庭にとっては、車利用は必要不可欠であり、駐車場問題は各園父母にとって切実な問題になっています。園周辺での駐車場の確保については、市の方針と大きく異なるため、意見は平行線となっていますが、入所希望時に各園の状況や車利用についての市の考え方をしっかり説明していただくことについては、その後のトラブルを未然に防ぐためにも、引き続き対応を継続・強化頂くようお願いいたします。</p>
14	保育相談の強化	<p>保育士体制問題との関連も指摘がありますが、より相談がしやすい環境づくりに関して配慮をお願いいたします。</p>
15	保育料の見直し	<p>保育料については、値下げを求める声がある一方で、アンケート2(3)の結果のとおり、保育の質やサービスの維持・向上による値上げを容認する意見もあります。見直しの議論を行う場合は、透明性を確保したうえで、父母の納得感が得られるような取進めをお願いいたします。</p>

2014	項目	2014年 意見・要望
16	異年齢保育の評価	異年齢保育については、アンケート結果を見ても、評価の声、疑問視する声など様々であり、一定の整理をしていくことを伺っております。対応状況についてご説明頂き、引き続き関係者間で共有できるよう、しっかりとした評価を早急に行っていただきますようお願いいたします。
17	放射線測定強化	引き続き、食品を中心とした放射線量の監視・測定等をしっかりと継続・強化してください。
18	障がい児受け入れ	保育士の確保や運用面に関する受け入れ態勢の強化等のご対応頂き、全ての年齢での受入れの実施や、定員の増加等、かかわりの必要な園児の受け入れを更に進めて下さい。
20	第三者評価	第三者評価も各園一度の実施は終わり、二順目に入っています。これまでの結果は各園とも保育内容については一定の高評価となっている一方で、父母とのコミュニケーション等については課題もあります。また、今回の協議会で実施したアンケート結果とうまく補完をしながら、今後これらの評価を受けて、具体的な改善策について検討・フィードバックをお願いいたします。
	子ども子育て新システムについて	平成27年4月のスタートにあたっては、まだ詳細が不明な部分もあるとのことですが、一方で、新制度が実施されたとしても、現行の保育の内容や保育料などで新たな負担が生じないようにするという国からの指導もあり、市としてもその方針で対応されていると理解をしています。その理解で間違っていないか改めて確認をさせて下さい。もし仮に、現時点で我々公立保育園の現状の保育内容や保育事業等に影響が出るということでしたら、我々父母へ可能な限り早期に周知し、必要に応じて協議を頂きますようお願いいたします。なお、子ども子育て会議では、団体推薦に公立保育園の父母代表枠が無くなったことについては遺憾です。市の保育施策は公立保育園を活用した施策が多く、公立保育園の父母への影響も大きいです。また保育園に通う父母は年齢的に子育て負担が大きく仕事と家庭の両立に手一杯で公の場での発言がしにくい中、500世帯程の纏まった意見を反映できる団体として、善処をお願いいたします。